



2024年4月26日

各位

会社名 三和油化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 柳 均
(コード番号：4125 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役執行役員経営管理部長 熊崎 聡
(TEL 0566-35-3021)

北九州市との立地協定締結に関するお知らせ

当社は、2024年2月20日付「子会社の異動（合弁会社の設立）に関するお知らせ」にて開示のとおり、エア・ウォーター・マテリアル株式会社と合弁会社を設立することを決議いたしました。

この度、2024年4月26日付で北九州市と立地協定を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 北九州市との立地協定

九州地区は、半導体関連企業の工場建設や設備投資が急速に行われており、それらの稼働に伴い多くの化学材料が使用され、また多量の産業廃棄物が発生すると予測されるため、資源のリユース・リサイクルに対するニーズはますます高まっております。当社及びエア・ウォーター・マテリアル株式会社は、サステナブル社会の実現に貢献することを目的として、北九州市において合弁会社「サンワマテリアルソリューションズ株式会社」を設立し、半導体工場等から発生する有機溶剤等の産業廃棄物を再資源化する工場拠点の建設を決定しました。

また、北九州市においては、この進出が九州全体の半導体サプライチェーンの強靱化につながることを期待し、これを機に、北九州市における半導体や次世代電池等の未来産業の集積を促進し、「稼げるまち」の実現につなげていく方針であることから、互いに大きなシナジー効果があると考えております。

この決定に伴い、当社、エア・ウォーター・マテリアル株式会社及び北九州市は立地協定を締結し、共同の記者会見を実施いたしました。



(左) 三和油化工業株式会社 代表取締役社長 柳 均

(中央) 北九州市長 武内 和久 様

(右) エア・ウォーター・マテリアル株式会社 代表取締役社長 衛藤 昌彦 様

以上



 **三和油化工業株式会社**

 **エアウォーター・マテリアル株式会社**

サンワマテリアルソリューションズ株式会社

事業概要

2024年4月26日



- **九州地区**には**半導体関連企業**を中心とする産業が集積し、今後も拡大すると見込まれています
- 資源を輸入に依存するわが国では**国内資源循環へのニーズが高まり**、市場規模も拡大します

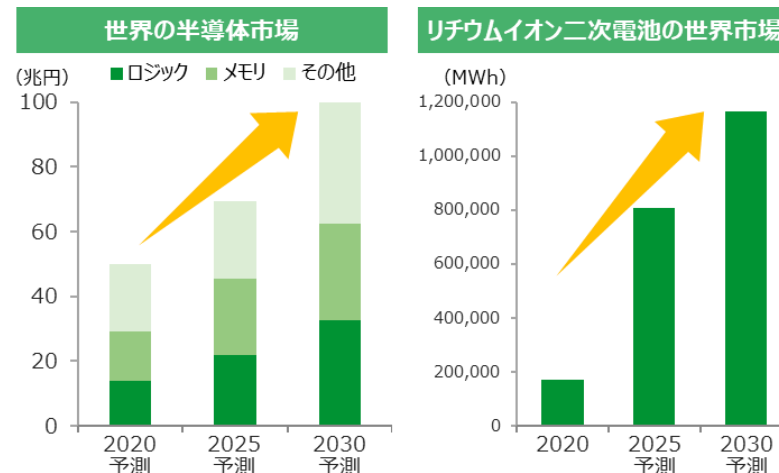
これら工場が稼働すると、多くの化学材料が使用されますが、廃棄物も大量に排出されます。
現状、九州地区においては有機溶剤等の化学材料をマテリアルリサイクルできる会社がほとんどありません。

北九州に新会社を設立、工場を建設することを決定
⇒九州地区の資源循環を促進し、
サステナブル社会の実現へ貢献



ターゲット顧客の一例

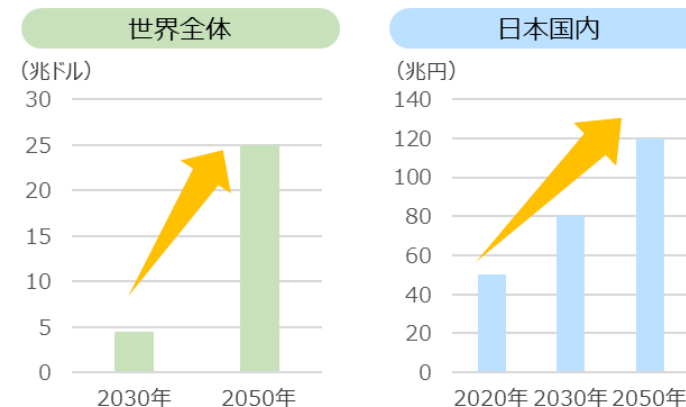
- ・JASM
- ・ソニー
- ・旭化成
- ・三菱電機
- ・住友化学
- ・京セラ
- ・昭栄化学工業



出典：経済産業省「半導体戦略（概略）」
※縦軸は出荷額を表す

出典：矢野経済研究所発表「車載用リチウムイオン電池世界市場に関する調査」

サーキュラーエコノミー関連の市場規模



出典：経済産業省／2023年3月 成長志向型の資源自律経済戦略の概要

新会社設立の目的

九州地区で半導体関連のものづくりが急速に増え、化学材料が大量に消費されますが、その原材料の多くは輸入品です。輸入依存度の高い**化学材料を国内で資源循環するため**、三和油化工業(株)とエア・ウォーター・マテリアル(株)は合弁会社を設立します。

今後の社会に必須となる化学材料をマテリアルリサイクルする**九州地区初の事業**として、ここ北九州市で推進してまいります。

三和油化工業

国内資源循環に貢献する機能と実績をもつリサイクルメーカー

エア・ウォーター・マテリアル

九州を基盤とする化学品販売で長年の実績をもつ専門商社

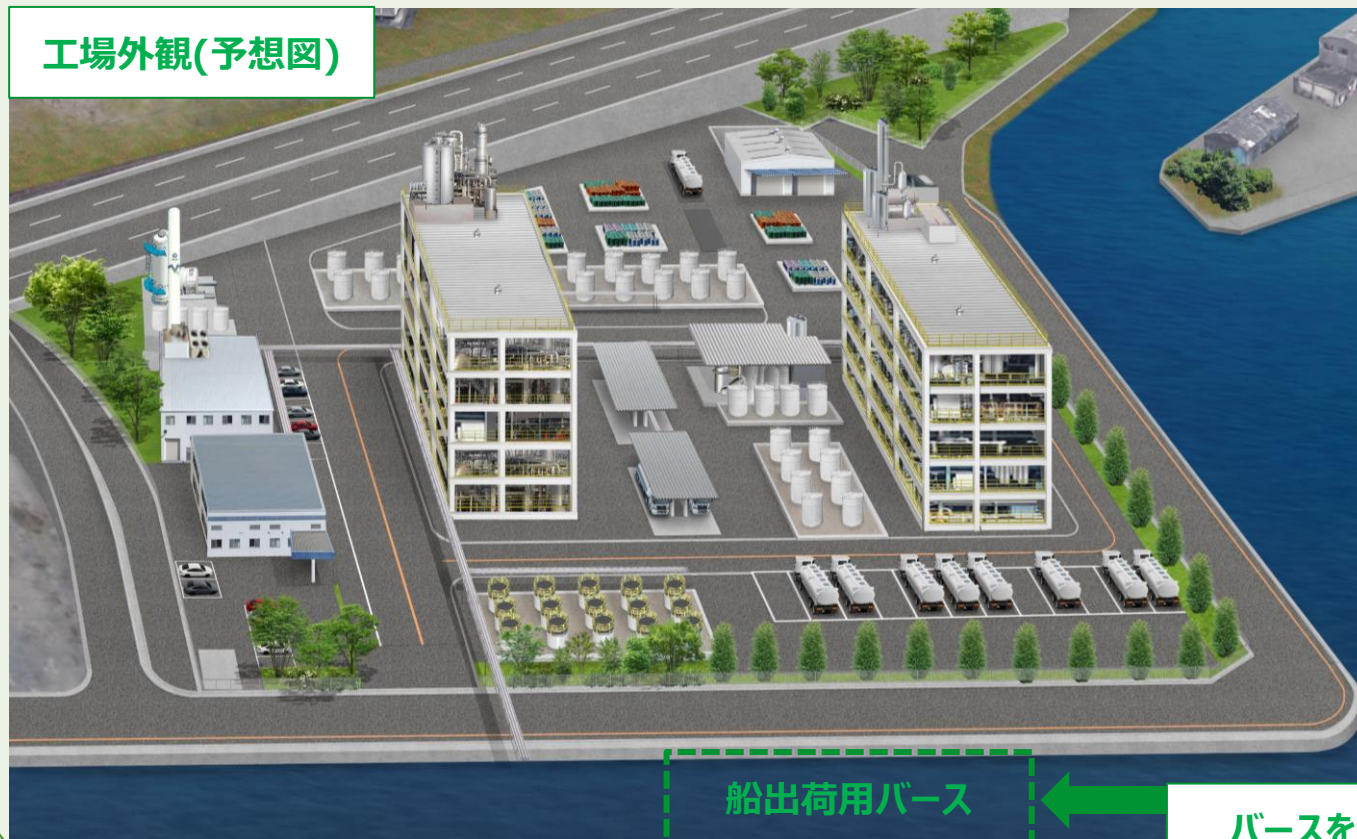
会社名称	サンワマテリアルソリューションズ株式会社
本社所在地	北九州市戸畑区牧山5丁目（AGC(株)北九州事業所内）
代表者	代表取締役社長 山本浩貴（やまもと ひろき）
事業内容	産業廃棄物の処理、再資源化 工業用薬品全般についての製造、販売
資本金	450百万円（資本準備金225百万円含む）
出資比率	三和油化工業（株） 65% エア・ウォーター・マテリアル（株） 35%
設立年月日	2024年6月（予定）
新会社への投資額	約60億円（予定）
従業員数	約20名（2026年予定）・・・段階的に増員する予定です

新会社の立地(詳細)

輸入に依存する化学材料の国内循環を北九州市にて行います！！（九州地区初）

所在地：北九州市戸畑区牧山5丁目（AGC株式会社 北九州事業所内）

工場外観(予想図)



工事期間（予定）

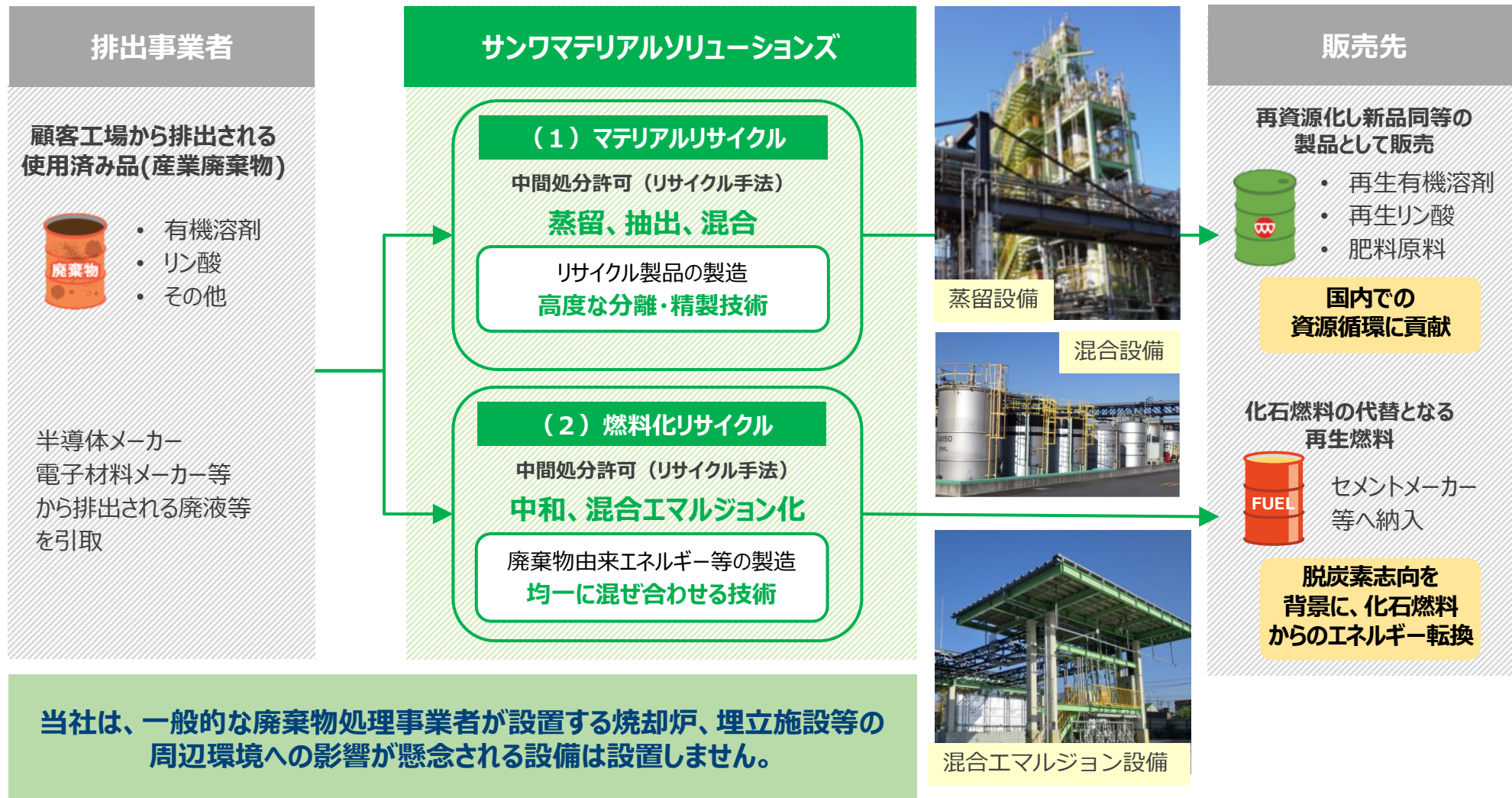
着工：2025年初頭

完工：2026年春

稼働開始：2026年中

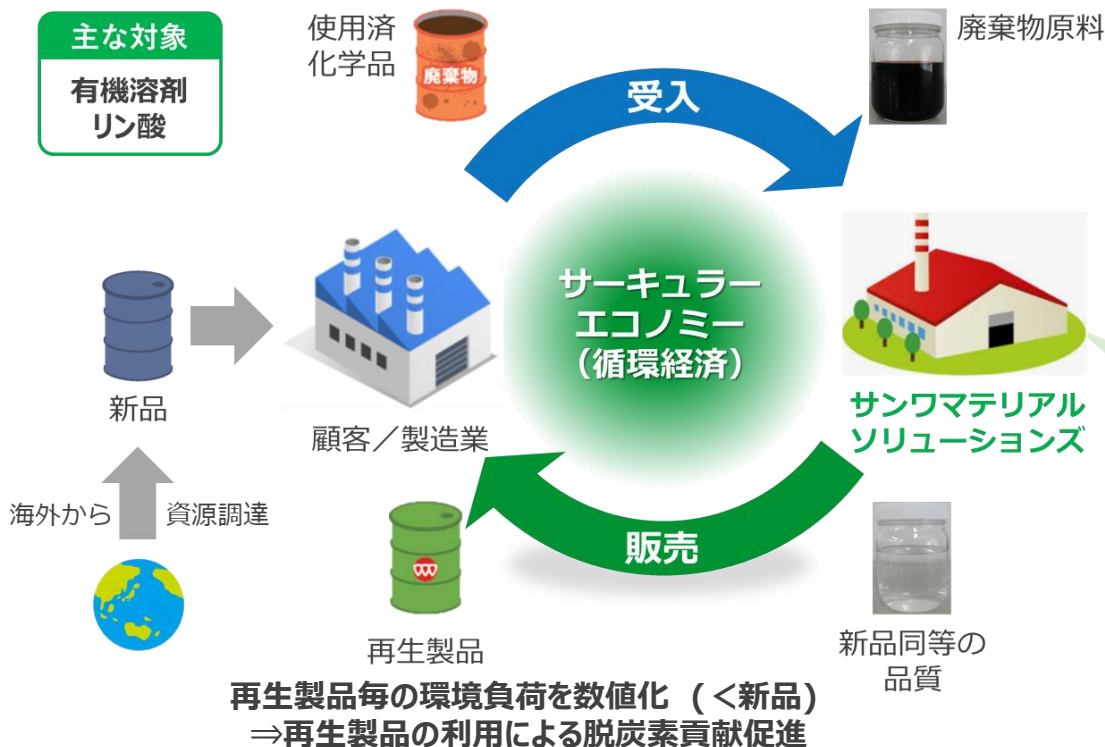
バースを活用した船舶輸送も活用する予定です

- 九州エリアを中心に成長が見込まれる**半導体関連企業等の産業廃棄物をマテリアルリサイクルします**
- マテリアルリサイクルと燃料化リサイクルの2段階構えで、**サステナブル社会の実現に貢献します**



マテリアルリサイクルの独自性

- **新品に近い品質**にまで分離・精製し、材料として再利用するマテリアルリサイクル
- 九州地区初の本格的なマテリアルリサイクル拠点として事業化
- **CO₂負荷が新品より低い**方法でマテリアルリサイクルを実施



独自技術でマテリアルリサイクルをソリューションします

- ① **蒸留 (有機溶剤収集量国内NO.1)**
物質ごとに異なる沸点の温度差を利用して、混合物から特定の物質を分離・濃縮する手法
- ② **抽出 (リン酸抽出分離を国内唯一事業化)**
溶媒等に対する溶解度の差を利用して、混合物から特定の物質を分離する手法
- ③ **混合**
濃度の異なる複数の溶剤・酸等を混ぜ合わせ成分調整をする手法

①蒸留設備



②抽出設備



③混合タンク



設備イメージ

事業活動を通じ、輸入依存度の高い化学材料の

- ① 調達リスク低減
 - ② コスト最適化
 - ③ SDGs対応
- を九州地区で実現します。

ご清聴ありがとうございました

Appendix

弊社は、「環境ニーズを創造する」をテーマに事業展開しており、産業廃棄物のリユース・リサイクルと環境にやさしい製品づくりを通じて、環境負荷の低減や資源の有効活用に注力してまいりました。ESGを念頭に置いた経営や持続可能な開発目標（SDGs）に準じた事業活動を推進し、サステナブルな社会形成に貢献し、「社会から必要とされる環境リーディングカンパニー」となることを目指しております。

会社名称	三和油化工業株式会社
本社所在地	愛知県刈谷市
代表者	代表取締役社長 柳 均（やなぎ ひとし）
事業内容	産業廃棄物の再資源化 リサイクル製品・化学品・油剤製品の製造販売 工場設備の撤去解体
資本金	1,588百万円
証券コード	4125（東証スタンダード市場/名証メイン市場）
設立年月日	1970年6月
売上高	173億円（2023年3月期実績）
従業員数	486名（2023年4月現在 グループ連結）
事業拠点	本社・事業所・営業拠点・グループ会社（右図）

事業拠点



リユース、リサイクル、化学品事業を中心に展開しております。

PCB事業

4.7% (22年3月期 : 6.3%)

PCB特別措置法に基づきPCB含有廃棄物の適正処理を行うためのソリューションを提供

自動車事業

14.0% (22年3月期 : 14.5%)

自動車メーカー・自動車部品メーカーなどに潤滑油や金属加工油などの油剤製品、工業用洗浄剤及び自動車製造工程で使用される各種副資材を製造・販売

化学品事業

32.7% (22年3月期 : 30.7%)

有機化学品や無機化学品及びそれらを精製・加工した化学品の製造・販売及び受託加工

リユース事業

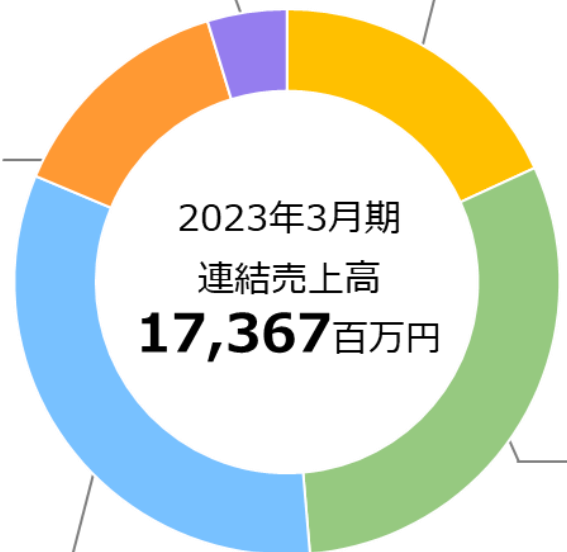
18.1% (22年3月期 : 18.3%)

使用済み廃溶剤、廃酸、有用金属等を含む産業廃棄物などを中間処分・再資源化し、元の用途や素材として再使用

リサイクル事業

30.5% (22年3月期 : 30.2%)

使用済み廃溶剤、汚泥、廃プラスチック類などの産業廃棄物を中間処分・再資源化し、再生燃料やセメント・石灰・鉄鋼の副原料及び副資材としての2次利用を中心に再資源化



2023年3月期
連結売上高
17,367百万円

エア・ウォーター・マテリアル株式会社：会社概要

本社設立 〒105-8537 東京都港区浜松町2丁目13番7号
 2015年10月1日
資本金 150百万円
主要株主 エア・ウォーター株式会社
売上 504億円（連結ベース 2022年度）
役員 代表取締役社長／衛藤 昌彦
従業員数 269名
事業所 国内：24拠点
 海外：6ヶ国（中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン）
事業内容 半導体薬品及び機器、化学工業製品他

沿革

1661年創業 井上喜

創業 九州

1955年 化学品・電子材料事業 国内拠点・タンク拡充

1988年 海外展開 台湾・バンコク 他 現地法人設立

2010年 エア・ウォーターグループに加入

1924年創業 阿部電材

1924年 電気絶縁材料事業・電気電子材料事業

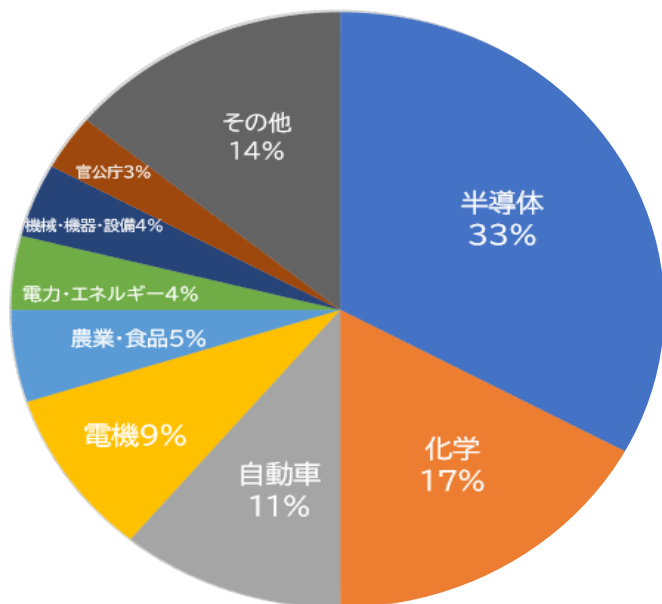
2009年 営口阿部配線有限公司(YAH)へ出資

2013年 エア・ウォーターグループに加入

2015年

エア・ウォーター・マテリアル(株) 発足

業界別売上比率(%)



Keyword 1

グリーンイノベーション

躍進する環境分野、そのニーズに応えていくために

持続可能な社会の実現につながるビジネス——とりわけ環境分野に関わる領域は大きく成長を続けています。

そこから生まれるニーズにこれまで以上に応えていくべく、2021年10月に「グリーンイノベーション推進室」を設置。資源の効率的な利用と付加価値の最大化を図る「循環型社会ビジネス分野」、カーボンニュートラルの実現につながる「脱炭素社会ビジネス分野」、環境負荷の低減に寄与し、「人と自然の共存社会ビジネス分野」の3カテゴリーで、全社横断の取り組みを加速しています。

事例② エア・ウォーター・マテリアルの有機溶剤再生リサイクルビジネスの拡大

溶剤リサイクルの事業として、自社の物流拠点を活用し、使用済みの溶剤の回収と倉庫保管を行い、パートナー企業で高品質再生を行うビジネスを展開中です。20年前から九州で開始している事業で、現在は使用済溶剤回収は42,273トン、再生液納入は1,313トンの実績で、CO₂排出削減は3,833トン/年にもなります。

また、タイでも現地のパートナーと溶剤再生ビジネスがスタートしました。今後も資源の有効利用とCO₂排出削減を推進していきます。

※有機溶剤とは、他の物質を溶かす性質を持つ揮発性の液体の総称です。



エア・ウォーター・マテリアル 九州事業部 営業三宮 (左から) 三宮 隆夫、三宮 真由美、三宮 大輔

株主

商号	エア・ウォーター株式会社
設立	1929年（昭和4年）9月
代表者	代表取締役会長・CEO（最高経営責任者） 豊田 喜久夫
本社所在地	〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目12番8号 エア・ウォータービル
資本金	559億円
売上収益	連結 10,047億円 / 単体 1,690億円（2023年3月期）
グループ会社数	276社（うち連結子会社185社）
従業員数	連結20,109名 / 単体634名

地球の恵みを、社会の望みに。

九州との関わり

エア・ウォーター・マテリアルは、創業1661年の井上喜と創業1924年の阿部電材が産業ガス大手エア・ウォーターのグループになり、2015年 合併・発足した会社になります。

特に九州地区では、井上喜が長年に渡り構築してきた物流基地・物流センターにて電力及び半導体・化学品業界へ薬品などの商品を安定供給しております。

また、一般建設業の許可にて、九州域内の取引先様に工場向けの塗装やタンク設置などの設備工事も行っております。

九州は、アジアに近いこともあり、弊社は30年前より海外展開も積極的に行っております。特に東南アジアのネットワークで輸出入の機能を九州域内の取引先様に提供しております。

事務所・物流センター・基地配置図



宮崎物流センター

住 所 宮崎県宮崎市清武町今泉字山ノ内丙1871 今泉工業団地内 (〒889-1602)
 設 立 1976年(※2024年4月15日 現住所に移設)
 設備内容 危険物倉庫(152㎡) ・毒劇物(※)／一般倉庫(731㎡) ※空調完備(一部)
 主配送車両 3台(トラック2台、ワゴン1台)



(一般物倉庫) (毒劇物倉庫)

西九州物流センター

住 所 佐賀県三養基郡みやき町大字江口4662-1 (〒849-0112)
 設 立 2008年
 設備内容 危険物倉庫(約340m2)・毒劇物／一般倉庫(約781m2)・クリーンルーム (CR10000)
 ※空調完備(一部)・小型冷凍庫・冷蔵庫
 主配送車両 2台



熊本物流センター

住 所 熊本県熊本市南区近見8丁目11-20(〒861-4101)
 設 立 1981年
 設備内容 危険物倉庫(約160+146m2)・毒劇物／一般倉庫(約1,162+710+310m2)
 ※空調完備(一部)・小型冷凍庫/冷蔵庫
 主配送車両 3台



伊万里物流基地

住 所 佐賀県伊万里市山代町久原字小波瀬3961-18(〒849-4256)
 設 立 1987年
 設備内容 48%苛性ソーダ用 450m3×1基 400m3×1基
 35%塩酸用 400m3×2基
 苛性ソーダ希釈装置 20m3×1基
 車両(ローリー) 苛性ソーダ用6台 塩酸用4台



川内物流基地

住 所 鹿児島県薩摩川内市港町字唐山6120-8(〒899-1924)
 設 立 1983年
 設備内容 48%苛性ソーダ用 350m3×1基 300m3×1基
 35%塩酸用 300m3×2基
 車両(ローリー) 苛性ソーダ用2台 塩酸用2台



海外拠点

- Epoch Technology Co.,Ltd. (中国/上海)
 - Inotec Taiwan Co.,Ltd. (台湾/台北、新竹、台南)
 - Inoueki (Thailand) Co., Ltd. (タイ/バンコク)
 - Inoueki Singapore Pte Ltd. (シンガポール)
 - Inoueki (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア(クアラルンプール))
 - Inoueki (Malaysia) Sdn. Bhd. Kulim Office (マレーシア/クリム)
 - Inoueki Philippines, Inc. (フィリピン/ラグナ)
- ※他Gr会社
 (中国/ハーネス、タイ/溶剤再生、台湾/高純度ガス、フィリピン/成形)